



まちの持つ「資源」についてメッセージを発信

上智大学大学院地球環境学研究科の20周年を記念したシンポジウムに塚原町長が出席しました。

上智大学は、東京農工大学との合同実地研修のため、令和3年から毎年本町を訪れ、土壌・水質調査や少子高齢化対策などの社会調査、飯南高校生との交流などを行っています。

町長はシンポジウムで、本町の紹介や、町と上智大学との関わりを説明。今後も上智大・東京農工大の合同研修を通して、本町の農業振興などに取り組みます。

上智大学大学院 記念シンポジウム

6月11日



隊列を揃えるなど機敏な動きで真剣に

令和7年度飯南町消防団員部隊訓練が、本庁舎下駐車場で行われ、115人の消防団員が出動しました。

消防団夏季訓練は、消防団の組織力向上を目的として毎年行われています。当日は、訓練開始宣言、団長訓示、町長への出動人員報告後、飯南消防署職員からの指導のもと、通常点検と停止・行進間の動作確認などの中隊訓練が行われました。

火災や災害などの有事の際に、安全で的確に活動するため、今後も引き続き訓練を重ねます。

飯南町消防団 夏季訓練

6月15日



子育てしやすい環境などを紹介

（公）ふるさと島根定住財団主催の「しまね移住相談会」が東京都千代田区で開催され、移住相談を行いました。

会場には島根の食材が堪能できるキッチンカーやしまねっこも登場し、島根に関心のある人々で賑わいました。

町のブースでは、暮らし、仕事、住まい、移住支援制度などの情報提供や個別相談を実施。家族連れなどが絶え間なく相談に訪れました。

今後も、県外で移住相談会を開催し、移住促進に取り組みます。

しまね移住相談会

6月16日



迫力ある演技に見入る児童たち

みらい人材育成事業の一環で、小学校3、4年生を対象に「劇団風の子演劇鑑賞会」を来島交流センターで開催しました。

この事業は児童が芸術文化に触れる機会をつくり、芸術を愛する心を育て、豊かな情操を培うことを目的に開催。

当日は、九州を拠点に活動する「劇団風の子九州」が「このゆびとくまれ!」を上演。空想の世界を描いたユーモア溢れる演出に、児童たちからは大きな笑い声が上がりました。

今後も本事業を通して、子どもたちが芸術や文化に触れる機会をつくります。

芸術を愛する心を 劇団風の子演劇鑑賞会

6月16日



クロモジの魅力を紹介 「まる」知事表敬訪問

クロモジを使った商品開発・販売に取り組む「まる」の3人と塚原町長が、商品や活動を紹介するため、丸山島根県知事を表敬訪問しました。

クロモジの葉や枝から作ったお茶や、クロモジとヒノキなどを詰めた枕を紹介。丸山知事に、クロモジの優しく爽やかな香りを楽しんでももらいました。

「まる」は本町の創業支援制度「ビジネスプランコンテスト」で優秀賞を受賞（令和6年度）。

商品の数々は「産直市ぶなの里」星の宿「ラムネ銀泉（頓原）」で購入できます。



塚原町長と一緒にクロモジの魅力を紹介



親子で芝居を観る会 子どもと生の芝居を観る会

来島交流センターで「子どもと生の芝居を観る会」主催の演劇公演が行われました。

名古屋市を拠点に活動する「劇団むう」が2演目を上演。森の動物たちが友達とケンカをしたり、協力したりする姿に、子どもたちからは「がんばって」など応援の声が上がっていました。

「子どもと生の芝居を観る会」は、田舎に暮らしながらも、子どもたちに生の芝居を見せてあげたいと、子育て中のお母さん達により結成。現在は中高生も参加し、活動の輪が広がっています。



表情豊かな演技に引き込まれる観客

7.4
金



初夏の風物詩 半夏まつり

赤来夏まつり実行委員会主催の「半夏まつり」が開催されました。

歩行者天国となった赤名連坦地を、町内外から訪れた大勢の来場者が散策。思い思いに屋台などを楽しんでいます。

旧JRバス車庫に設置された特設ステージでは、飯南神楽団の神楽公演、飯南牡丹組のよさこい披露が行われ、迫力あるステージに大勢の観客が見入っていました。

人気のお笑い芸人によるライブでは大きな歓声が上ががり、賑やかなお祭りとなりました。



迷うほどたくさん並んだ屋台グルメ



カラフルな花火に大歓声が聞かれました



多くの観客を魅了した神楽公演

7.5
土